

# 一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

## 2019年度第1回(通算第55回)理事会 議事録

1. 開催日時：2019年(令和元年)7月21日(日) 11:04～14:02(昼休憩11:58～12:54)
2. 場 所：横浜市スポーツ医科学センター 中研修室(横浜市港北区小机町3302-5(日産スタジアム内))
3. 審議事項および資料
  - 第1号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)
  - 第2号議案(専権等の報告) 2018年度第6回業務執行報告(総務系)
  - 第3号議案(専権等の報告) 2018年度第6回業務執行報告(事業系)
  - 第4号議案(専権等の報告) 2019年度第1回業務執行報告(総務系)
  - 第5号議案(専権等の報告) 2019年度第1回業務執行報告(事業系)
  - 第6号議案(専権等の報告) 7/20理事会前日会議の報告
  - 第7号議案(決議) 新入会者の承認について
  - 第8号議案(決議) 協会誌投稿規定検討委員会の設置継続
  - 第9号議案(決議) 協会誌電子公開の外部委託について
  - 第10号議案(決議) 協力SIGの法人内SIG化の推進方針について
  - 第11号議案(決議) 2018年度事業報告(案)について
  - 第12号議案(決議) 2017年度決算案について

4. 理事総数 14名  
出席理事数 14名
  - 会長(代表理事) 沖川悦三
  - 理事 石濱裕規、江原喜人、岡野善記、桂律也、金井謙介、剣持 悟、杉本昌子、鈴木太、中村俊哉、二瓶美里、麩澤孝、水澤二郎、山形茂生
  - 監事 相川孝訓、赤澤康史
  - 事務局 深野栄子
  - 欠席理事 なし

5. 議事の経過の概要及び議決の結果
  - (1) 定款第49条に基づき、議長となる会長の沖川悦三が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
  - (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の水澤二郎と石濱裕規の2名を選出した。

### 第1号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)

沖川会長より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼について報告され、追認で承認された。

承認13、非承認0(会長除く)

- ・2019/07/09 後援 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会様より「日本福祉のまちづくり学会 第22回全国大会」(2019/8/8～9)
- ・2019/07/09 協賛 公益社団法人計測自動制御学会様より「第20回SICE システムインテグレーション部門講演会」(2019/12/12～14)
- ・2019/07/09 後援 特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター様より「第7回ウェルフェアデザインコンテスト」(2019/9～2020/3)

### 第2号議案(専権等の報告) 2018年度第6回業務執行報告(総務系)

水澤副会長(総務)より、各業務執行理事の業務執行状況(2019年6月17日～2019年6月30日)が報告された。なお

専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

- 会長／事務局担当：沖川
  - ・会費請求（口座引落）データ作成・提出
  - ・会計処理の見直しに伴い、部門別・科目別の新コードでの会計処理を進めた
  - ・2018年度決算処理を行った
- 総務統括／規則選挙担当：水澤
  - ・2019年度役員候補者選挙について選挙管理委員会業務のサポートを行った
- 総会・理事会担当：江原
  - ・2018年度第6回（通算第54回）理事会議事録の取りまとめを行った
  - ・2019年度第1回（通算第55回）理事会開催のための準備を行った
  - ・2019年度事業計画（案）の資料取りまとめを行った
  - ・2018年度事業報告（案）の資料取りまとめを行った
- 財務担当：岡野
  - ・法人会計の管理をおこなった
  - ・経理システムの管理及びメンテナンスをおこなった
  - ・決算準備をおこなった（会計システムのメンテナンス）
  - ・仮受金の訂正をおこなった
- 広報・渉外担当：杉本
  - ・協会ホームページ運用
    - ・更新作業（2件）
  - ・WEB管理委員会
    - ・ML配信（0件）、Facebook投稿（1件）、FreeML配信（3件）、ML登録（2件）
  - ・委員会理事会報告

### 第3号議案（専権等の報告）2018年度第6回業務執行報告（事業系）

金井副会長（事業）より、各業務執行理事の業務執行状況（前回理事会（2019年6月17日）から2018年度末（2019年6月30日）まで）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

- カンファレンス担当：剣持・鈴木
  - ・第34回リハ工学カンファレンス in さっぽろ 準備
    - ・タイムテーブル公開、座長確定、後援名義申請に係る緊急時マニュアルの作成、事前参加申込116名
  - ・第35回リハ工学カンファレンス（2020年）準備
    - ・案内文作成、HP開設に向けた調整
- コンテスト担当：山形
  - ・福祉機器コンテスト2019協賛金未納企業に連絡を実施
- 協会誌担当：石濱・桂
  - ・協会誌発行：vol.34 No.3～vol.35 No.1 準備（執筆依頼、内容検討、進捗確認）
  - ・第2回編集委員会開催準備
  - ・査読体制：査読中5件 第3査読者依頼あり
  - ・協会誌投稿規定の見直し：第3回投稿規定検討委員会はWeb会議を調整中
  - ・協会誌の電子化：J-STAGE 登載作業の検討：専門委託事業者への見積依頼
- 分科会・委員会担当：二瓶・金井
  - ・分科会：SIG・支部
    - ・SIGのあり方に関する最終案の検討
    - ・協会誌Vol134No2に掲載するSIG・支部お知らせページに関する調整
    - ・SIG・支部代表者会議の開催日時に関する再調整および議題の検討
    - ・札幌カンファレンスにおける支部セッション広報の検討
  - ・専門委員会：災害対策委員会の運営
    - ・JRAT会議（戦略会議）への出席
    - ・「災害時に役に立つ福祉用具等に関する講習会」案について、11月に第40回八王子いちよう祭りにて開催可否に関する検討および調整

- 企画担当：中村・麩澤・金井
  - ・HCR2019出展社出展及びセミナーに関する調整を行った。
  - ・頸髄損傷者の自立生活と社会差参加に関する実態調査2020実施に係る全国頸損連および実行委員会との調整
- 国際担当：桂・石濱
  - ・なし

#### 第4号議案（専権等の報告）2019年度第1回業務執行報告（総務系）

水澤副会長（総務）より、各業務執行理事の業務執行状況（2019年7月1日～2019年7月20日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

- 会長／事務局担当：沖川
  - ・事務局運営
    - ・決算処理を行った。法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進めた
    - ・後援・協賛予定：継続依頼分のみ専権として承認回答（後援2件、協賛1件）
  - ・展示会出展における広報活動
    - ・H. C. R. 2019の出展準備（出展社プレゼンテーション申込）
  - ・チャットワークを利用して理事会運営の効率化を図る
    - ・チャットワーク運用の準備を行った
- 総務統括／規則選挙担当：水澤
  - ・2019年度役員候補者選挙について選挙管理委員会業務のサポートを行った
  - ・総務系理事に対して、理事会・総会担当理事からの指示の元、7/10〆切として業務執行報告書の提出を求めた（6月17日～6月30日分及び7月1日～7月21日分）
- 総会・理事会担当：江原
  - ・理事会開催
    - ・2018年度第6回（通算第54回）理事会議事録の取りまとめを行った
    - ・2019年度第1回（通算第55回）理事会開催のための準備を行った
  - ・2018年度総会開催
    - ・2019年度社員総会の資料（案）作成および開催準備を行った
- 財務担当：岡野
  - ・2018年度経理データ処理
  - ・2018年度決算案作成
  - ・2018年度財務・会計とりまとめ
  - ・仮受金の調査及び修正作業
- 広報・渉外担当：杉本
  - ・WEB管理委員会活動
    - ・協会Facebook投稿0件、会員ML配信0件、FreeML配信3件
  - ・協会リーフレットの更新
    - ・データの更新、誤植の確認を実施した
  - ・オンラインストレージの利用
    - ・Dropbox内のデータ移行について検討した

#### 第5号議案（専権等の報告）2019年度第1回業務執行報告（事業系）

金井副会長（事業）より、各業務執行理事の業務執行状況（2019年度始め（2019年7月1日）から第1回理事会前日（2019年7月20日））が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

- カンファレンス担当：剣持・鈴木
  - ・第34回リハ工学カンファレンス in さっぽろ 準備
    - ・最終チラシ完成とHPへの生涯学習ポイント、協賛団体の記載
  - ・第35回リハ工学カンファレンス（2020年）準備
    - ・HPに関する打ち合わせ、委嘱状の送付
- コンテスト担当：山形
  - ・福祉機器コンテスト2019第一次選考会開催：7/7（土）於：横浜市スポーツ医科学センター

- 協会誌担当：石濱・桂
  - ・協会誌発行：vol. 34 No. 3～vol. 35 No. 1 準備（執筆依頼、内容検討、進捗確認）
  - ・第2回編集委員会の開催：7/7、新横浜、参加11名（うちWeb参加2名）
  - ・査読体制：新規投稿なし。掲載1件、査読中4件 第3査読者依頼あり
  - ・協会誌投稿規定の見直し：第3回投稿規定検討委員会のWeb会議を調整中
  - ・協会誌の電子化：J-STAGE 掲載作業の検討：専門委託事業者への見積依頼
- 分科会・委員会担当：二瓶・金井
  - ・分科会：SIG・支部
    - ・SIGのあり方に関する最終案の作成
    - ・SIG代表者会議、支部代表者会議の議題等の準備
    - ・協会誌Vo134No2に掲載するSIG・支部からのお知らせのとりまとめ
    - ・協会誌Vo134No2に掲載するSIGからのお知らせのとりまとめ
  - ・専門委員会：災害対策委員会の運営
    - ・特になし
- 企画担当：中村・麩澤・金井
  - ・HCR2019出展社セミナーに関する調整と申し込み
  - ・頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査2020の各種調整
  - ・監査出席
  - ・業務執行報告とりまとめ
  - ・各事業系理事からの相談対応
- 国際担当：桂・石濱
  - ・なし

#### 第6号議案（専権等の報告）前日会議の報告

水澤副会長（総務）、金井副会長（業務）より、理事会前日7月20日（土）開催の理事会前日会議として以下の各種委員会および統括会議の報告がされた。

日時：2019年7月20日（土） 12:00～17:00

場所：横浜市スポーツ医科学センター 中研修室

- ・会議1：SIG-WG
- ・会議2：監査
- ・会議3：監査、Web編集委員会
- ・会議4：監査、研修企画委員会
- ・会議5：統括会議

#### ●SIG-WG 12:10-13:00

出席者：沖川、石濱、江原、桂、金井、中村、山形、深野

- ・全SIGを法人内SIGとする方針で、各SIGにおける非協会員や財産の取り扱いについて検討した
- ・合同SIG講習会、ホームページやMLの活用方法等、法人内SIGとなるメリットについて検討した

#### ●Web管理委員会 13:30-15:00

出席者：沖川、金井、桂、中村、江原、山形、鈴木、水澤、石濱（書記）

- ・ホームページの更新状況や要修正事項等についての確認を行った
- ・Google Analyticsによるアクセス解析（2019.06.15～07.17）の内容について確認した
- ・協会資料の管理方法について検討した
- ・ホームページの更新成果を確認した
- ・SIGや支部、カンファレンス事務局による協会ホームページの利用方法について検討した
- ・協会メールの利用状況について確認した

#### ●第3回研修企画委員会 15:00-16:20

出席者：沖川、金井、桂、中村、江原、山形、鈴木、水澤、石濱（書記）

- ・カンファレンスと連動した合同SIG講習会について検討した
- ・八王子いちょう祭（11/16-17）に出展し、災害対策リハ工学セミナーを実施することについて検討した
- ・収益事業となる合同シンポジウムやセミナー等の開催方法について議論を行った

●統括会議 16:30～18:00

出席者：沖川、水澤、金井、江原、石濱、桂、中村、岡野、鈴木、山形、相川、赤澤

- ・事業計画、予算案 及び 事業報告、決算について確認を行った
- ・定時社員総会資料の作成、代議員への発送等に関するスケジュールについて確認した
- ・社員総会後にカンファレンス会場にて臨時理事会を開催し、会長選出および理事分掌検討、顧問の選出について協議することとした

第7号議案（決議）新入会者の承認について

沖川会長より、2018 年度第 6 回（通算第 54 回）理事会以降のメーリングリストによる確認及び承認をおこなった者以降、今回の理事会までの入会希望者 1 名（2018 年度下半期正会員 1 名）の入会について提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0 （会長除く）

第8号議案（決議）協会誌投稿規定検討委員会の設置継続

協会誌担当の石濱理事、桂理事より、協会誌投稿規定検討委員会は、2018 年度第 1 回理事会で設立が承認され、以降、2 回の委員会を協会誌編集委員会併催にて実施した結果、「(改訂版) 投稿規定」「投稿論文査読規定」等の協会誌諸規定と整合性をもった「編集委員会実施内規」を編集委員会にて策定し、理事会に報告する必要性が明らかとなったため、本委員会の 2019 年度継続の申請が提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0 （会長除く）

設置期間：2019 年 7 月 22 日～2020 年 7 月 21 日

委員会メンバー

委員長： 協会誌担当理事

委員： 協会誌副担当理事

協会誌編集委員会

編集委員長 1 名

副編集委員長（査読担当） 2 名

編集委員（特に学識経験を有するもの） 若干名

編集委員会幹事 1 名

（協力者）カンファレンス担当理事

第9号議案（決議）協会誌電子公開の外部委託について

協会誌担当の石濱理事、桂理事より、編集委員会への負担、ならびに、作業効率化と継続性を鑑み、協会誌の電子化にかかる外部委託について提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0 （会長除く）

- ・ J-STAGE 掲載作業を担当理事の方で試みたが膨大な作業量だったため、外部委託したい。
- ・ 協会誌予算より一定予算を各年計上し、創刊号からの電子化を予定している。PDF 化未完了号については、協会誌担当理事・編集委員会により、PDF 化を行い、J-STAGE 掲載作業のみを委託する。J-STAGE 公開専門事業部を有する 3 社に見積を依頼しており、最適な委託先について決定したい。
- ・ 原稿種類を絞って再度見積もりを取り、委託先を決定する。

第10号議案（決議）協力 SIG の法人内 SIG 化の推進方針について

分科会・専門委員会担当の金井副会長、二瓶理事より、昨年の SIG 代表者会議を受けて、WG を設置して協力 SIG の位置づけに関する検討を行い、またその素案に対して各協力 SIG の代表者と意見交換を行ってきた成果を踏まえて、協力 SIG の法人内 SIG 化について以下の方針で進めたいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。なお、この方針は 8/22 に実施される SIG 代表者会議にて提示予定である。

承認 13、非承認 0 （会長除く）

○大方針：6 つの協力 SIG を含む全 SIG を法人内 SIG とする

- ・ 協力 SIG は存在しない（法人内か独立かの選択）

- 非協会員である SIG 会員の取り扱い
  - ・ 準会員等の創設は行わず現状のままとする
  - ・ 協会へは協会員の SIG 会員のみ数を報告する
- 会計について
  - ・ SIG の会計は連結決算とするが、各 SIG の財産は保護する
  - ・ 事業計画・予算案、事業報告・決算書の提出を求める（書式作成）
- SIG 会費の徴収について
  - ・ 各 SIG にて必要に応じて徴収する（会計報告時に報告）
- その他
  - ・ SIG 活動事務補助費（仮称）として一律支給
  - ・ 合同 SIG 講習会や展示会 SIG セミナーなどの活性化支援策を講じる
  - ・ resja ドメインのメールや協会 HP への SIG 個別ページの作成などの検討
  - ・ SIG 代表者委員会を設置し、理事会と一体となった SIG 活動の検討を行う

第 11 号議案（決議）2018 年度事業報告（案）について

沖川会長より、2018 年度事業報告（案）が提示され、定時社員総会の資料となるものなので、修正すべきところがないか、ご検討いただきたいと提案され、今回あげられた修正箇所を含め、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0（会長除く）

第 12 号議案（決議）（決議）2018 年度決算案（収入および支出）について

財務担当の岡野理事より、2018 年度決算案（貸借対照表、損益計算書、販売費・一般管理費内訳書、総勘定元帳が提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 13、非承認 0（会長除く）

理事会前日（2019 年 7 月 20 日）に監査を実施した。業務執行状況については、総会の決議した年間事業は概ね順調に実施されており、決算報告書、証拠書類等について監査した結果、本会の財産は適正に管理されている。予算執行は順調であった。

- 1) 各事業担当のご尽力、とくに協会誌編集経費の削減や第 34 回リハ工学カンファレンスの黒字等により単年度の財務は大きく改善されました。
- 2) 通常業務に加え、仮受金記載の見直しや財務システムの改善など、財務担当理事と事務局により多大な作業が実施されました。この財務システムにより、次年度から業務がさらに効率化されることが期待されます。
- 3) 会費値上げにより 2019 年度から収支のバランスを取ることが過年度より容易になると予想されますが、協会全体の財務状況を常に意識した事業運営がなされることを希望します。
- 4) 今後の事業活動活発化への対応や、協会の事業継続性が担保できるよう、事務局体制の強化もしくは事務処理負担の分散についても検討を開始すべきと考えます。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の 2019 年度第 1 回（通算第 55 回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（14 時 02 分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2019 年 7 月 21 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平 2019 年度第 1 回理事会

議	長	沖川悦三
議事録署名人		水澤二郎
議事録署名人		石濱裕規